

## 令和4年度 学力スタンダード指導計画・報告書

教科：(国語)科目：(現代文B) 対象：(第3学年1組～7組)

科目担当者：(1組:渡邊<sup>印</sup>)(2組:渡邊<sup>印</sup>)(3組:渡邊<sup>印</sup>)(4組:田中<sup>印</sup>)(5組:田中<sup>印</sup>)(6組:田中<sup>印</sup>)(7組:田中<sup>印</sup>)

教科・科目の指導目標	1段階上の進路実現に対応できるように、様々な評論文の読解や様々な時代の小説の読解を行い、自らの力で文章を論理的に読解する力を身につけることを目標とする。また文章の読解を行った上で、自らの生き方を考え、現代社会を生きる上での自らの思想を育んでいくことを目標とする。
------------	---

	高校入試等の分析結果・前年度の学力調査分析結果	分析結果を踏まえて検討した指導内容	指導体制の確立
年度当初	漢字、語彙などの知識は例年並みである。一方、文章の読解、特に評論文の読解力については改善がみられ、校内平均も全国平均を上回った。コロナ禍による分散登校などの影響は続いているが、生徒も生活や学習形態の変容には慣れつつあるとみられ、読解力の定着に向けた学習意識がついてきている。3学年においてはその点を考慮し、大学受験に対応すべく評論文の読解力をさらに伸ばし、語彙力と論理構造を読み取る力の養成につとめる。現代社会の諸問題の解説などを行いつつ、高度な内容の評論文に触れることで、現代社会を生き抜く力を身に付けさせたい。	1 読解力の養成 2年次の学習活動で身につけた語彙力をさらに伸ばしていくと共に、授業、長期休業中の課題等を通じて、様々な文章に触れ、主体的に文章を読み解いていく力を育成する。 2 表現力の養成 様々な文章を読み、書き手の意見・主張を踏まえて自分の考えを深め、自分の意見を表現する力を身につけさせる。 3 主体的な学習態度の育成 自らの進路実現を果たすために、主体的な学習態度を育成していく。主体的な学習活動の中で、今後の生活に必要な自らの思想を形作っていく。	1 小テストの有効活用 年間を通して小テストを実施し、漢字力の向上、語彙力の向上を図る。 2 演習課題の実施 読解を中心とした演習を、授業時に定期的実施し、様々な文章の解き方を身につけていく。 3 夏期講習・補習の実施 学力不足の生徒に対しては基礎学力の定着を図る補習を実施し、成績上位者に対しては入試問題を意識した発展的な内容の講習を実施し応用力を養う。

	生徒の変容	生徒の学力の定着状況	次年度に向けた指導体制の改善
年度末			